

事 務 連 絡

平成 28 年 12 月 8 日

富山県木造公共建築物等推進会議
建築部会会員各位

富山県森林政策課長

木造公共建築物現地研修会の開催について（ご案内）

日頃より木材利用の推進に格別のご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

県では平成 23 年 4 月に策定した「富山県公共建築物等木材利用推進方針」に基づき、
県内の公共建築物の木造化や内装木質化を進めております。

また、去る 9 月に制定した「富山県県産材利用促進条例」に基づき、林業・木材・
建築関係者等の方々と連携・協力し、公共建築物をはじめとした、県産材の更なる利
用促進に取り組んでいくこととしています。

このたび、魚津市教育委員会のご協力により、下記のとおり建設中の物件を対象に
した現地研修会を開催しますので、ご出席のほどよろしくお願いいたします。

記

1 日 時 平成 28 年 12 月 22 日（木）14：00～16：00

2 内 容 ①室内研修 全国初となる木造 3 階建て小学校校舎の取組状況

②現地研修 県内初となる「接着重ね梁」※を使った建物の施工状況

※接着重ね梁とは

県内で一般に流通している製材品を重ねて接着し、品質・性能を高めた梁材。

3 場 所 ①は富山県魚津総合庁舎 407 会議室（魚津市新宿 10-7）

②は建設中の「西布施地域活性化施設（仮称）」（魚津市長引野地内）

4 その他 当日は 13：50 までに①室内研修会場までお越し下さい。

②現地研修会場へは、各自で移動していただくようお願いします。

また、②現地研修会場へはヘルメットを持参して下さい。

準備の都合がありますので、参加を希望される場合は、12 月 19 日（月）までに別紙
参加申込票により連絡願います。

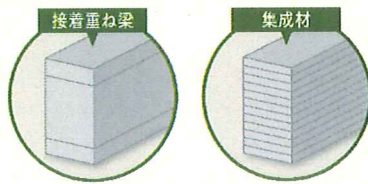
（事務担当：木材利用推進係 加門）

TEL 076-444-3388（直通）

FAX 076-444-4428

e-mail:katsumi.kamon@pref.toyama.lg.jp

接着重ね梁とは



本来、無垢の横架材は30cm以上の大径材から製材されるのが一般的ですが、「接着重ね梁」であれば、小中径材から梁せいの大きな横架材が製造できます。

「接着重ね梁」は、小中径材を組合わせることにより、梁の高さを変えた生産が可能であり、注文に応じた製品の出荷が可能となります。

また、集成材に比べて接着層が少ないため、接着剤の使用量も少なく、見た目にも無垢材に近い意匠性が得られます。

接着重ね梁の特徴

特徴 1	特徴 2	特徴 3	特徴 4
選別された良材を 組合わせることで、 安定した強度の 梁材が得られる	間伐材から 断面の大きな 構造材が 製造できる	接着層が少なく 木の美しさや 無垢材に近い 質感が味わえる	接着剤の 使用量が 少ない

接着重ね梁の構成図

